

影野を愛し、世界を視野に入れ、自ら行動する児童の育成 ～未来のために 影野から～



影野小 学校だより
No.6
令和7年7月14日
文責：山本



70日間の1学期は今週で終わります。季節は夏となり、子ども達は、日焼けした顔にプールセットを持っての登校、今朝も変わらず元気な「おはよう」の声が響きます。

影野小学校で学ぶということ ～豊かな体験活動を通して～

本校に着任して、3ヶ月が過ぎました。毎週木曜日に「読み聞かせ」に来てくださるボランティアの方々、登校時に街頭指導で見守りをしてくださる方、学校園（畑）を耕してくださいました方、芋のつるさしの支援をしてくださった方、ビオトープの草刈りをしてくださった方、笹竹を切って届けてくださった方、小学校のアルミ缶回収小屋までアルミ缶を届けてくださった方、3、4年生がお世話になった「笹岡ブロック」「海洋堂」「四万十農産」「ブレーメン」「山株公園」「りん家」「はらっぱ」の方等、改めて地域あっての影野小であることを感じずにはいられません。おかげさまで、影野小の子ども達はのびのびとした学校生活を送らせていただいています。

6、7月にあった、全校での活動を振り返ってみます。

6月17日（火）かしわ餅作り

3～6年生の年間10回のクラブ活動のうち、「かしわ餅作り」の時だけは特別に1、2年生も加わります。今年も集落活動センター「りん家」の方々のご厚意により行うことができました。唯一、かしわ餅を包む、山帰来の葉だけはこの日の朝、自分達で調達しました。



大先輩に教えていただき四苦八苦しながら餡を包みました。十人十色、いろんな大きさのお餅ができました。

餅が蒸しあがるまでの間、おじゃみを使つた昔遊びコーナーです。「あんたがたどこさ」を歌いながら～♪

のびのびよるやぶ蚊や山帰来のトゲと闘いながら、1人3枚以上の葉を調達しました。

6月27日（金）トウモロコシの収穫体験

サンビレッジ四万十さんにお声がけいただき、オープン前のトウモロコシ観光農園で収穫体験を行いました。まず初めに、この地域の農業事情や、トウモロコシについての学習がありました。パネルクイズにしてくださっていたので、分かりやすく楽しく学ぶことができました。そして、お楽しみの収穫体験の後は、ゆでキビまで準備してくださっていて、おいしくいただきました。



1年生だって「はい！」と元気よく手を挙げて池上さんのクイズに答えます。

教えていただいた通り、ひげの色を見て、先の部分をつまんで、1人2本をゲット。

朝どれ、ゆでたてのトウモロコシは、おいしいに決まります。
ごちそうさまでした。

7月7日（月）七夕集会

以前はどこの学校でも見かけた「七夕集会」です。最近は飾り付けだけで集会は行わない学校もありますが、影野小では集会として続いています。

この日は、飾り付けが終わった笹竹を2階ホールに移動させ集会が始まりました。七夕の歌を歌い、6年生がペーパーサートを使って七夕のお話をします。最後に1人1人が願い事を発表しました。



笹の葉さらさら～♪
日本の古き良き歌です。

6年生5人がよく分かるよう
にと時間をかけて準備したペー
プサート、大成功でした。

家族や世界に心を寄せ
た願い事もありました。

影野小体験入学（7月8日～7月18日）

元影野小学校の校長先生であられた、坂山英治さんを通じて、6年生にウィルダーマン マーベリックさんが体験入学中です。出身はアメリカのダラスです。せっかくの機会なので全ての学級と交流の時間を作っています。最初は恥ずかしさと嬉しさが相まってお互いに緊張気味でした。今週いっぱいですが、マーベリックさんにとっても影野小の子ども達にとっても良い思い出ができるることを願います。

